

第2学年 英語科学習指導案

日 時 平成26年11月10日(月) 第5校時
 学 級 2年A組(男子19名、女子13名)
 授業者 教諭 三浦 恵、ALT ネイト ヒル

1 単元名 PROGRAM7 If You Wish to See a Change (Sunshine English Course2 開隆堂)

2 単元について

本単元では、環境保護活動に取り組んでいるセヴァン・カリス＝スズキさんのスピーチや信念について紹介されている。その中で扱われている言語材料は、〈動詞の-ing形〉(動名詞)、〈look/become+形容詞〉、〈主語+動詞+人+物〉などであり、意味や用法を理解しながら読み進めることで、彼女の考えや生き方に触れることができる。それらを読み取る段階にとどめず、心に残る言葉を抜き出しながら感想を述べさせたい。また、環境問題のみならず世界情勢(貧困や飢餓)にも目を向け、改善に向けて何ができるか自分の考えを書くことができる力を養いたい。

3 生徒について

英語に苦手意識を感じ、活動に消極的で学習事項が定着していない生徒が多く、男女間の学力差が大きい。また、切り替えや話を聞く姿勢・集中力などの授業規律にも課題がある。昨年度の岩手県学習定着度状況調査では、「英文を書く設問」において、県平均を10%以上下回っているものがあつた。この課題を解決できるよう、感想や考えを書く際には身近な話題を取り上げて、生徒自身の問題として捉えさせたい。また、例文や語順・語彙を示しながら、低学力の生徒も取り組めるよう手立てを取っていききたい。更には生徒が書いた英文を全体で紹介し、良いモデルを示すことで生徒に刺激を与え、学ぶ意欲を高めていきたい。

表1 英語の4技能に対する意識調査(2年A組30名、平成26年10月1日実施)

1. 自分の英語で弱い力					2. 書く活動の際に困っていること(複数回答可)
	1番目	2番目	3番目	4番目	
読む力	10.0%	6.7%	40.0%	43.3%	①語順が分からない……………66.7%
書く力	60.0%	23.3%	13.3%	3.3%	②語彙が少ない……………66.3%
聞く力	6.7%	20.0%	26.7%	46.7%	③表現方法が分からない……………60.0%
話す力	23.3%	50.0%	20.0%	6.7%	④書く内容が思いつかない……………56.7%

4 単元の指導目標

(1) セヴァンさんが伝えたいメッセージを読んで、自分の感想や考えを書けるようにする。(環境問題や世界情勢(貧困や飢餓)の改善に向けて何ができるか。)

【外国語表現の能力】

(2) 〈動詞の-ing形〉(動名詞)、〈look/become+形容詞〉、〈主語+動詞+人+物〉を用いた文の構造や用法を理解できるようにする。

【言語や文化についての知識・理解】

(3) 辞書を活用するなどして、自分の感想や考えを書くことができるようにする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

5 自校CAN DOリストとの関連

2年「書くこと」

(3) 聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちなどを書くことができる。

6 単元の評価規準

観点 單元名	ア：コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ：外国語表現の能力	ウ：外国語理解の能力	エ：言語や文化についての知識・理解
PROGRAM7	辞書を活用するなどして、自分の感想や考えを書いている。	セヴァンさんが伝えたメッセージを読んで、自分の感想や考えを書くことができる。 (環境問題や世界情勢(貧困や飢餓)の改善に向けて何が出来るか。)		〈動詞の-ing形〉(動名詞)、〈look/become+形容詞〉、〈主語+動詞+人+物〉を用いた文の構造や用法を理解している。

7 単元の指導と評価計画

時	指導内容	評価の観点	評価方法
第1時	【PROGRAM7-1】 <ul style="list-style-type: none"> 本単元の目標や学習内容を把握させる。 〈動詞の-ing形〉(動名詞)を用いた文の構造や用法を理解させる。 自分や友達が好きなことや得意なことを英語で説明させる。 次時に向け、地球にどのような環境問題があるか調べてくるよう促す。 	エ ア	後日ペーパーテスト 活動の観察
第2時	<ul style="list-style-type: none"> セヴァンさんに関する英文(SECTION1)の内容を理解させる(〈動詞の-ing形〉(動名詞)を用いた文の構造や用法を理解させる。) 印象に残った語句や文を抜き出し、その感想や理由を英語で書かせる。その際、必要に応じて辞書を活用させる。 	ア	活動の観察
第3時	【PROGRAM7-2】 <ul style="list-style-type: none"> 〈look/become+形容詞〉を用いた文の構造や用法を理解させる。 「もし自分が～すれば、…になる」と英語で説明させる。 次時に向け、中国、アフリカ、南アメリカの位置や基本情報を調べてくるよう促す。 	エ ア	後日ペーパーテスト 活動の観察
第4時	<ul style="list-style-type: none"> セヴァンさんのメッセージ(SECTION2)の内容を理解させる(〈look/become+形容詞〉を用いた文の構造や用法を理解させる。) 印象に残った語句や文を抜き出し、その感想や理由を英語で書かせる。その際、必要に応じて辞書を活用させる。 	ア	活動の観察
第5時	【PROGRAM7-3】 <ul style="list-style-type: none"> 〈主語+動詞+人+物〉を用いた文の構造や用法を理解させる。 絵や写真の中の人物に、何をしてあげたいか英語で説明させる。 	エ ア	後日ペーパーテスト 活動の観察
第6時	<ul style="list-style-type: none"> セヴァンさんのメッセージ(SECTION3)の内容を理解させる(〈主語+動詞+人+物〉を用いた文の構造や用法を理解させる。) 貧困や飢餓に苦しむ子ども達がいることを理解させ、子どもの権利条約で、子どもたちが持つ権利について確認させる。 印象に残った語句や文を抜き出し、その感想や理由を英語で書かせる。その際、必要に応じて辞書を活用させる。 	ア	活動の観察
第7時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> PROGRAM7 全文を振り返り、感想や考えを書かせる。(環境問題や世界情勢(貧困や飢餓)の改善に向けて何が出来るか。)その際、必要に応じて辞書を活用させる。 	ア イ	活動の観察 ワークシート

第8時	<ul style="list-style-type: none"> ・第7時で書いた感想を書き直し、発表する。 ・リオの伝説のスピーチを鑑賞させる。 		
後日	〈ペーパーテスト〉 <ul style="list-style-type: none"> ・〈動詞の-ing形〉(動名詞)、〈look/become+形容詞〉、〈主語+動詞+人+もの〉を用いた文の構造や用法についての理解をみる問題。 	エ	ペーパーテスト

8 本時の構想

(1) 本時の目標

- ・セヴァンさんが伝えたいメッセージを読んで、自分の感想や考えを書けるようにする。〈環境問題や世界情勢(貧困や飢餓)の改善に向けて何ができるか。〉【外国語表現の能力】
- ・辞書を活用するなどして、英文作成に取り組むことができる。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 研究に関わって

視点1 「単元及び1時間単位の指導目標(到達目標)を明確にした指導の工夫」について

- ・単元のゴールにPROGRAM7全文を振り返り、セヴァンさんが伝えたいメッセージを読んだ感想や考えを書く活動を設定する。達成に向けたスモールステップとして、各セクションで印象に残った語句や文に対する感想を書く活動を積み重ねていく。また1時間単位の指導目標を確認する場を設ける。本時では、文の構成を提示し、感想や考えを書く際に使えそうな表現や語順を確認して英文作成に取り組ませる。

視点2 「学ぶ意欲を喚起する学習課題の工夫」について

- ・セヴァンさんが伝えたいメッセージとこれまでの学習で得た情報などをもとに、自分の感想や考えを表現させることで、生徒の学ぶ意欲を喚起する。

視点3 「学習課題に即した言語活動の工夫」について

- ・これまで学習した内容を踏まえながらPROGRAM7全文を音読する。その後、学習課題の解決に必要な情報を既習事項から選択し、環境問題や世界情勢(貧困や飢餓)の改善に向けて何ができるかを具体的に考え、判断し、表現させる。

視点4 「次時へ意欲をつなぐ、ふり返りの場の設定」について

- ・成果や課題について自分の言葉でまとめさせ、数名に発表させる。授業者からは、取り組みの状況や学習のねらいに即して充実感が得られるよう言葉がけをし、次時の予告をする。

(3) 本時の評価

具体的評価規準 評価の観点	A:十分に満足できる	B:おおむね満足できる	Cの生徒への手立て
外国語表現の能力	セヴァンさんが伝えたいメッセージを読んで、自分の感想や考えを理由と共に具体的に書くことができる。〈環境問題や世界情勢(貧困や飢餓)の改善に向けて何ができるか。〉	セヴァンさんが伝えたいメッセージを読んで、自分の感想や考えを書くことができる。〈環境問題や世界情勢(貧困や飢餓)の改善に向けて何ができるか。〉	各セクションで書いてきた英文を振り返らせると共に、例文を提示しながら、どのように書けばいいか具体的に助言する。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	辞書を活用するなどして、積極的に英文作成に取り組んでいる(辞書は活用していないが、積極的に書いている場合もAとする)	辞書を活用するなどして、英文作成に取り組んでいる。	書きたい内容を引き出し、分からない表現は辞書を使いながら書くよう促す。

(4) 本時の展開

	学習内容	学習活動	形態	指導上の留意点 (・) 評価 (○)
導入 7分	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 ・復習 ・課題把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本本文の復習を行う (英語⇔日本語) ・本時までに提示してきた写真を見て、セヴァンさんが環境問題や世界情勢の改善に向けて強い信念を持っていた事を思い出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ペア 一斉 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 視点2 学習課題を自分自身の問題として考えさせることで、生徒の学ぶ意欲を喚起する。 </div>
	学習課題：セヴァンさんが伝えたいメッセージを読んで、自分の感想や考えを書こう。(環境問題や世界情勢 (貧困や飢餓) の改善に向けて何が出来るか)			
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・解決の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような構成で書けば良いかを知る。 ①これまでの学習で一番印象に残った事 (もしくは学んだ事や知った事) に対する感想、②今後自分が取り組んでいきたい事が基本だが、疑問に感じた事やもっと知りたいと思った事などオリジナルで項目を付け加えても良い。 	一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 視点1 授業のゴールや英文の構成などを提示し、解決に向けて見通しを持たせる。 </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決① (内容想起) 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文を書く際に使えるような表現や語順を確認する。 I think (thought) ～./I learned～. / I want to～./I must～. など 	一斉	
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決② (英文作成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのメモを完成させ、英文を作成する。時間内に書き終えた生徒は、内容がより良くなるよう英文を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ペア ↓ 個 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 視点3 既習の学習内容をもとに自分の考えをまとめ、表現することで、課題解決に向かわせる。 </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ・交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで英文を交換し、相手の英文を読む。 ・相手の英文で①同じように思った点、②自分にはない視点で驚いた点を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペア ペア 	<ul style="list-style-type: none"> ○辞書を活用するなどして書いているか (観察) ・机間指導をし、個別にアドバイスをする。 ○感想や考えを具体的に書けたか (授業終了後ワークシートを回収し、添削する)
終末 8分	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習チェックシートで自己評価を行い、数名発表する。 ・本時の活動について評価し、次時は感想を発表する事を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 個 一斉 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 視点4 成果や課題を自分の言葉でまとめさせる。授業者からも評価し、次時の予告をする。 </div>

